

第8回礼拝音楽研修会だより

2012年2月11日（土・信教の自由を守る日）

於：日本バプテスト連盟 佐賀基督教会

第8回礼拝音楽研修会（教会音楽専門委員会議／西九州地方連合 共催）

聖書箇所 創世記28：16

《プログラムⅠ》

9：30～11：00 開会礼拝（プログラムⅠ、Ⅱ合同）

基調講演「みんなで礼拝を発見しよう」

（基調講演講師：江原美歌子

日本バプテスト連盟宣教部教会音楽室長

日本バプテスト相模中央リスト教会音楽主事）

11：00～14：30 分科会 ー礼拝に仕えるためにー

（12：00～13：00 昼食と交わり）

①礼拝へのプロセス 藤井秀一（酒田のぞみ）

江原美歌子（相模中央）

②聖歌隊をはじめよう 山中臨在（浦和）

③会衆賛美伴奏法 加来陽子（筑紫野二日市）

《プログラムⅡ》

10：00～14：30 子どもの賛美 麦野達一・麦野加恵（筑紫野二日市）

14：30～15：30 派遣礼拝（プログラムⅠ、Ⅱ合同）

参加人数： 171名（スタッフ・託児含む）

♪ 3月の全国発送にて「基調講演録」をお届けします。ぜひご覧ください。♪

～研修会に参加して～

《礼拝へのプロセス》

熊本愛泉教会 古田はと子

私は、礼拝へのプロセス分科会に参加させていただきました。導いてくださった神様、講師の江原先生・藤井先生・スタッフの方々に感謝致します。

最初に、主日礼拝の準備プロセスに関わっている奉仕者を思い起こし、どんな準備があるのかを話し合いました。次に、牧師と音楽奉仕者・礼拝奉仕者とのコミュニケーションの取り方について話し合いました。教会によって準備の仕方が様々であり、また主日礼拝のためにみなさん努力なさっていることがわかり、とても勉強になりました。

午後からは、江原先生により『新生讃美歌』の特徴や賛美歌の歴史・種類・選び方などを学びました。奏楽の奉仕をさせていただいている者として、賛美歌選曲の重要性を教えられ、もっと賛美歌を知る必要があると気付かされました。

今回学んだことを生かして、ますます神様に喜ばれる礼拝奉仕を捧げられるようにしていきたいと願います。

《聖歌隊をはじめよう》

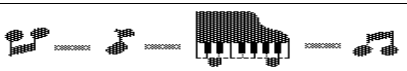
佐賀教会 中島寿美香

山中臨在師のととても楽しい聖歌隊の研修会に参加させていただきました。30分の昼食時間をとただけで、準備されていた4曲の練習は飽きさせない話術と的確な指導で、あっという間に過ぎてしまいました。もっともっと指導を受けたいと思いました。

学びの内容は、重力の法則にさからうこと（顔をあげて歌う）、前奏の時に楽譜を見る必要がない（意味のない行動をとらない）、2回3回繰り返す時は同じように歌わない、子音を大切に言葉の意味を理解して歌う、聖歌隊は歌であかしをする集団であることなど多くを教えていただきました。いつも佐賀教会の聖歌隊の練習の時にも指導を受けていることと同じようなことなのに…。多くのメンバーが揃ったためか、山中師の指導がよかったのか、いやいやイエス様がともにいてくださったのでしょうか。本当に恵まれた時を与えていただきました。聖歌隊は音楽的な技術と神様に対する信仰の両輪に支えられていることを再認識させられました。

これからも、もっともっと新しい歌を主に向かって歌いたい心から願わされました。賛美する喜びを与えてくださった神さまに感謝します。

最後になりましたが、聖歌隊の分科会のために会場として協力してくださった霊水教会のみなさま、ありがとうございました。



《会衆賛美伴奏法》

田隈教会 川崎順子

私たち 会衆賛美伴奏法分科会は、佐賀教会の牧師館の居間をお借りして、温かいアットホームな中で行われました。

最初に加来陽子先生から、礼拝音楽のはたらきと役割や、その音楽奉仕者として心掛けることなどのお話がありました。神様への思いをひとつにするための会衆賛美をリードし支えることの大切さ、神様により、この奉仕をさせていただいていること、技術と信仰のどちらも大事なこと、また具体的な歌いやすい伴奏法（歌詞を知り、息つぎや呼吸を意識する）などを学びました。

午後からは、各自 新生讚美歌から準備した一曲をピアノで順番に弾き合い、加来先生に指導していただきました。ピアノの特性を活かした伴奏法、経過音の入れ方、盛り上げていくアレンジの仕方などを先生がお手本を弾いてくださり、すっかり聞き惚れてしまいました。また普段お会いできない他教会の奏楽者の方と奏楽奉仕の思いを分かち合うことが出来たのも嬉しいことでした。

《子どもの賛美》

東熊本教会 池内真菜(小学5年)

私は、礼拝音楽研修会で、子どもの賛美分科会に参加しました。子どもの賛美分科会には子どもと大人あわせて37人が参加しました。

達一先生と加恵先生とみんなで歌の練習をし、絵を描き、楽器を作り、シュロの葉を工作して、作り上げた3曲を派遣礼拝で発表しました。

印象に残ったのは、天地創造の絵を描いたときに小さい子とペアを組んだことです。私は4才の子とペアを組んで描きました。私たちが担当したのは「大地と海」の絵です。空と海の色の分け方をなやみましたが、海には少しむらさき色をまぜました。楽器を作ったときは、教会の外に出て石などをひろい、ペットボトルの中に入れました。石のほかに、お米やマカロニも入れました。みんなそれぞれちがう音がしてすてきでした。

曲を発表するときには私は、1曲目でリコーダーをふきました。とてもきんちょうしたけれど、上手にふくことができて安心しました。礼拝音楽研修会は、とても楽しかったです。